

東北海域の底魚類の年間摂餌量推定

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 成松, 庸二 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012388

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



東北海域の底魚類の年間摂餌量推定

八 戸 支 所

研究の背景・目的

1. 生産力のない深層域においても多くの底生生物が存在する
2. 深海魚の分布量、餌生物、摂餌量を合わせた定量的な知見は皆無

研究成果

1. 東北海域の陸棚以深に分布する主要31種の餌は魚類、イカ類、ベントスの順で重要であった
2. 東北海域では年間130万トン以上の餌が底生生物によって捕食され、表層由来の餌が85%以上を占めていた

波及効果

1. 生態系における産業重要種の位置づけが明確になる
2. 表層由来の餌の重要性がクローズアップされたことで、本海域の深層域の生態系の構造が明らかになる

1997-2003年 10月南部
平均合計資源量: 232,117トン

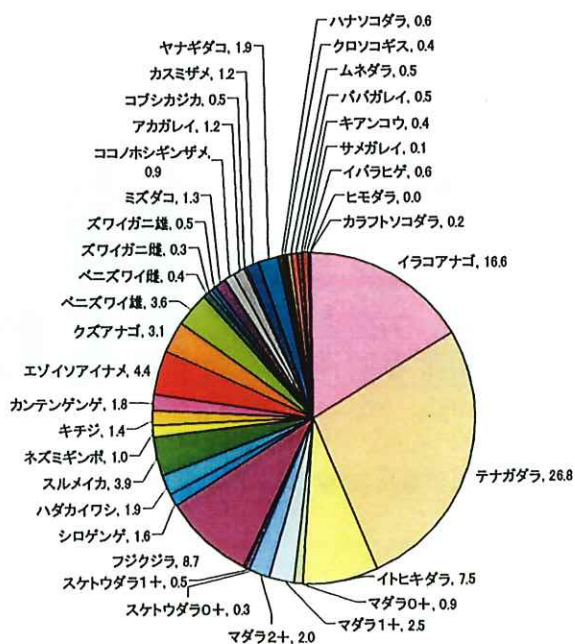


図1 資源に占める各種の割合

1997-2003年秋季南部
平均合計摂餌量: 591,253トン

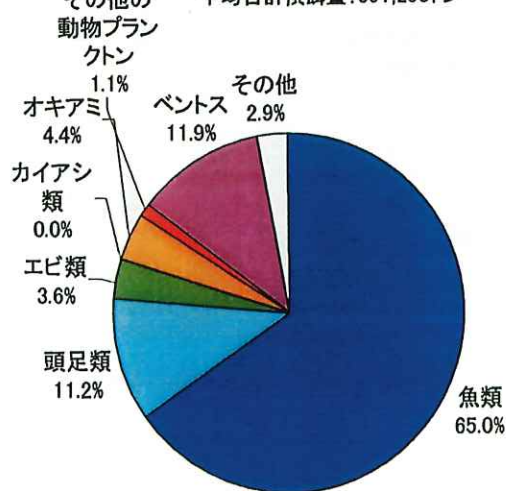


図2 全体に占める各餌生物の割合